

マタイの福音書 聖書講解シリーズ

26) 他人をさばくことについて

マタイ 7:1-6

2019.9.1 HKJCF

1

概観

共同体の中で生活する時、交わりと一致を破壊させる
「裁き合い」を減らすために、へりくだりの大切さについて
学びたい。

アウトライン

- | | |
|-------------|------|
| 1. 他者批判について | V1-2 |
| 2. 自己吟味について | V3-5 |
| 3. 適切評価について | V6 |

2

1. 他者批判について V1-2

- 1) 人をさばく：あら探し；非難；中傷など。
人のやる気を無くさせ、自分を傲慢にする。
- 2) 人を評価する：にせ預言者（ガラテヤ 1:8-9；ヨハネ 4:1）。真理に基づいて判断する。相手の成長を願い、忠告や気づきを与える。
- 3) さばかれ、量られる：されたことに比例して仕返しをする；悪の連鎖を生む（ローマ 2:1）。
- 4) 裁き主の存在：神の権利（ローマ 14:10；ヤコブ 4:11-12）；神に任せ（ローマ 12:19）。

3

2. 自己吟味について V3-5

- 1) 兄弟の目：信仰者、同じ立場にある人、身内など→余計に反応してしまう弱さ。
- 2) 目の中のちりと梁：滑稽なたとえ→論外、ありえないこと。大きな過ち×小さなミス。偽善者の自己義を真似しない→偽りの親切。
- 3) 目から梁を取りのける：自分の不完全さに気づくこと→へりくだりと思いやりの成長。
- 4) ちりを取り除く：目が「はっきり見て」から；先に見えてきたことを感謝しよう→侮らない。

4

3. 適切評価について V6

- 1) 聖なるものと眞珠：聖書の真理、忠告など。相手の成長に良いもの。
- 2) 犬と豚：心が固く、頑固な人→良いものを認識できない人→何を必要としているのか？
- 3) 踏みにじり、引き裂く：噛み合わない、不適切な対応→与える側は賢くなるように。
- 4) タイミングと距離の判断：人を愛し、仕える時の心得：「できるところまで、あとは主に」。必要な傷を与える側は賢くなるように。

5

適用

①裁き主を信頼し、神様に任せるように：
神様は正しく裁いてくださることを信じて、裁くことを神様に任せて、へりくだって互いの弱さに仕えていくように。

②境界線をしっかり引くように：
自分にできることと、神様しかできないことをしっかり吟味し、バウンダリーを引くように。

6